



2014年度 北陸学院大学 出張講座 (一般向け)

| 分野 | No. | 名 称 | 概 要 | 講 師 | 対 象 | 定 員 | 備 考(使用機材等) |
|-----|-----|----------------------------------|--|-----------------------|------------|-----|--|
| 社 会 | 1 | 外国人居住者と日本の地域社会 -石川県小松市を事例として- | 石川県小松市に居住している日系ブラジル人の現状と課題を把握し、それらを踏まえて、文化的背景の異なる人々が同じ地域社会でどのように暮らしてゆけばよいのかについて考えます。 | 俵 希實 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 2 | 防災・減災を考える | 災害リスクから、暮らし・地域を守るために必要な視点について考えます。 | 田中 純一 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン パワーポイントを使った講義 |
| | 3 | 政治は景気を左右するのか | 政治と景気の関係について、過去の事例から考えます。 | 若山 将実 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| 教 育 | 4 | 子どものあそび学 | 「ただ遊んでる」ように見える子どもたちの姿ですが、その年齢に必要なことをちゃんと学べるようにできています。それなのに、他の子どもたちと違うことをする子どもの姿に大人はドギマギし、その子の学びのジャマをしていることがよくあります。 | 大井 佳子 (人間総合学部 教授) | 一般・教育関係者 | 40名 | (ホワイトボード) |
| | 5 | 子ども・若者へのラブソング | 子ども・若者の生きづらさに寄り添い、共に学び、働き、生きるためのラブソング=共育・響育・興育・教育論とは？ | 金森 俊朗 (人間総合学部 教授) | 教育関係者 | 40名 | |
| | 6 | 家族問題とかかわる保育者 | 家族問題としての児童虐待や環境要因の発達障害などの問題を検証し、その背景に横たわる家族の病理性を中心とした学びから、保護者支援を考えます。 | 虹釜 和昭 (人間総合学部 教授) | 保育・幼児教育関係者 | 30名 | スクリーン |
| | 7 | 心を癒す音楽 | クワイアチャイム(音色はハンドベルですが、より演奏しやすい楽器です)を利用したワークショップです。優美で清澄な響きを楽しみます。 | 多保田 治江 (人間総合学部 教授) | 一般 | 20名 | CDプレーヤー 長机3本 |
| | 8 | 自然のふしぎに学ぶ | さまざまな実験や観察を通して自然のふしぎに触れ、その性質やきまりを見つけましょう。 | 戸田 教一 (人間総合学部 教授) | 小学生と保護者 | 30名 | |
| | 9 | 作家たちの子ども時代 | 昔は誰もが子どもでした。それは作家たちも同じこと。作家が自らの子ども時代を描いた作品を紹介しながら、時代とともに変わるもの、時代を経ても変わらないものについて考えます。 | 中島 賢介 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |

| 分野 | No. | 名 称 | 概 要 | 講 師 | 対 象 | 定 員 | 備 考(使用機材等) |
|-------|-----|----------------------|--|-----------------------|----------|-----|------------------------------|
| 教 育 | 10 | 栄養教諭になるには？ | 学校では比較的新しい職種である栄養教諭について、その業務内容、栄養教諭になるにはどうすればよいか等を紹介しします。 | 村上 吉春 (短期大学部 教授) | 高校生以上の一般 | 15名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 11 | 教員養成制度改革の現在 | 最近の教員養成制度改革の動向について解説します。 | 海口 浩芳 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 30名 | プロジェクター、スクリーン |
| | 12 | 学校の歴史:「学び」の可能性について | 学校が担ってきた役割を歴史的に考察し、現代社会に求められている学校の役割、これからの「学び」のあり方について考えます。 | 辻 直人 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 40名 | DVD使用 |
| 言語と文化 | 13 | 北陸地方のキリスト教保育史 | 『The Annual Report of Japan Kindergarten Union』(JKU年報)に記された北陸地方のキリスト教幼稚園の記載内容と関連資料から浮かび上がってきた特徴や傾向を概説します。 | 山森 泉 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 40名 | |
| | 14 | 石川の民話・伝説・物語 | 石川県内各地の村や町には、昔からその土地土地によって言い伝えられ語り伝えられてきた民話等がたくさんあります。先祖の暮らしやこめられた願いにふれてみましょう。 | 金丸 洋子 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | |
| | 15 | 異文化コミュニケーション力を身に付けよう | 異文化コミュニケーションの対象は外国人とは限りません。身近な人々との間でも価値観や文化意識が異なることがあります。身近な人々とのコミュニケーションが、文化背景の異なる人々との異文化コミュニケーションにつながっていきます。 | 後藤田 遊子 (短期大学部 教授) | 一般 | 20名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 16 | 日本と韓国の食器の比較 | 「文化としての食べ物」という視点から、日本と韓国の食文化を比べます。 | 小林 正史 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 17 | 少数民族と民族観光 | タイ王国北部の少数民族と、彼らを対象とした民族観光を通して少数民族の置かれた現状について考えます。 | 高 一男 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 18 | 金沢コミュニティの今後 | 団結性と自律・自主性の伝統は、金沢コミュニティの特質です。開かれた協働的コミュニティの中で、この伝統を花開かせるのは可能でしょうか。 | 橋本 和幸 (人間総合学部 教授) | 一般 | 20名 | |
| | 19 | 英語で遊ぼう | 絵本や歌・チャンツなどを通して英語に触れます。子どもと一緒に英語に触れたい方向けの講座です。 | 米田 佐紀子 (人間総合学部 教授) | 一般 | 10名 | パソコン、プロジェクター スクリーン、CDラジカセ |

| 分野 | No. | 名 称 | 概 要 | 講 師 | 対 象 | 定 員 | 備 考(使用機材等) |
|---------|-----|-----------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----|--|
| 【言語と文化】 | 20 | 創作ダンス | ダンスの難しい技法は用いません。絵を描くように、音楽を奏できるように表現したいことを自由に身体であらわします。 | 田邊 圭子 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 30名 | 音響機材(CDラジカセ等) 動きやすい服装 マイク(ピンマイク) |
| | 21 | スリ・ランカの保育と子ども達 | 開発途上国の一つであるスリ・ランカの保育や子ども達の生活は、日本とはどのように違うのか、考えてみましょう。 | 岡本 弘子 (人間総合学部 助教) | 一般 | 30名 | プロジェクター |
| 【福祉・医療】 | 22 | 認知症にならないコツ教えます | 生理的な老化と病的なボケ=認知症の違いから、認知症回避のための日常生活上のポイントをご提案します。 | 中谷 智一 (短期大学部 教授) | 一般 | 40名 | |
| | 23 | “ケアが変わる”記録の方法 | ケアの質を高めるためには、どのように記録を書けば良いのでしょうか。この講座では、ケアプランや実践と関連づけながら、より適切な記録の書き方について学びます。 | 真砂 良則 (人間総合学部 教授) | 介護職等の福祉関係者 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン、経過記録 |
| 【心理】 | 24 | 福祉用具で快適な暮らし | 障害のある方と、その生活を支える福祉用具の活用とその発展について学びます。 | 由田 美津子 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | ビデオ再生機 モニター |
| | 25 | より良いコミュニケーションのあり方とは | 日常欠かせない「コミュニケーション」について、心理学の観点から理解し、振り返ってみましょう。 | 西村 洋一 (人間総合学部 准教授) | 一般 | 30名 | プロジェクター、スクリーン |
| | 26 | 「人間らしさ」を考える | われわれヒトが持っている「人間らしさ」とはいったい何でしょうか。チンパンジーやボノボなどを対象とした比較心理学の研究からその答えを探ります。 | 東海林 渉 (人間総合学部 講師) | 一般 | 40名 | プロジェクター、スクリーン パソコン用スピーカー |
| 【食生活】 | 27 | ストレスへの対応 | ストレスへの対応をコーピングといいます。コーピングにはどんな種類があり、自分のコーピングの特徴はどんなものなのか、考えてみましょう。 | 木島 恒一 (人間総合学部 教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 28 | 家族のきずなは食卓から | 食事は個人の健康を維持するのに必要なものもちろんですが、家族のきずなを深めるためにも大切な要素です。栄養面だけでなく、食事全般から家族のあり方を考えます。 | 富岡 和久 (短期大学部 教授) | 一般、特に 幼児児童の 保護者 | 40名 | プロジェクター及び スクリーンあるいは 大型モニター |
| | 29 | 食生活と健康づくり | 健康日本21や食事バランスガイドを中心に理解を深めます。 | 短期大学部 食物栄養学科 | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 30 | 「じわもん」ってなんや？ —地産地消と郷土料理— | 石川県の郷土料理、行事食、加賀野菜の実態について取り上げます。 | 短期大学部 食物栄養学科 | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |

| 分野 | No. | 名 称 | 概 要 | 講 師 | 対 象 | 定 員 | 備 考(使用機材等) |
|-----------|-----|-------------------|---|----------------------|-----------|-----|-----------------------|
| 【情報・キャリア】 | 31 | 伝わる「プレゼンテーション」のコツ | 「何かを伝えたい」とき、どんなことに気をつけたら上手に伝わるのか。上手く伝えるポイントをご紹介します。 | 池村 努 (短期大学部 准教授) | 一般 | 20名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 32 | 地域歴史資料の観光への活用 | 地域資源を活かした個性ある観光地づくりが注目されています。本講座では、金沢の歴史資料を題材にしたツアーや再現料理、古写真・古地図などを用いた観光ガイドアプリ開発の取り組みをご紹介します。 | 沢田 史子 (短期大学部 准教授) | 一般 | 40名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |
| | 33 | 情報はウソをつく | 現代は情報が溢れかえっています。そこで、普段触れる情報をどのように評価するのか考えてみます。 | 若杉 亮平 (短期大学部 助教) | 一般(高校生以上) | 30名 | パソコン、プロジェクター スクリーン |

* 使用機材等については、要望に応じて調整いたします。

出張講座 お申し込み方法

- ① 「出張講座申込書」に必要事項を記入の上、FAXしてください。(メール添付・郵送も可)
*申込書は、大学HPIにPDF版、EXCEL版の用紙を用意しています。ご利用ください。
- ② 地域教育開発センターで受付し、講師と日程調整のうえご連絡いたします。
- ③ 申込担当者と本学講師で事前打合せを行い、使用機材、資料等の確認をしてください。
*講師によっては、送迎をお願いする場合があります。打合せ時にご確認ください。
- ④ 講座実施日には、必要機材等の準備をお願いいたします。
*アンケートへのご協力をお願いいたします。回収後、ご返送ください。
(恐れ入りますが、郵送料はご負担下さい。)

北陸学院大学 人間総合学部

北陸学院大学 短期大学部

幼児児童教育学科

社会学科

社会福祉学科

食物栄養学科

コミュニティ文化学科

※全学科男女共学

費用について

講座講義は無料で行っております。ただし、1教室(40名程度)までとしています。
この人数以上になる場合は、講演会等の扱いとなりますので、講師と直接交渉願います。

《申し込み・問い合わせ》

北陸学院大学 地域教育開発センター

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11

Tel : 076-280-3850 Fax : 076-280-3851

E-mail : reddec@hokurikugakuin.ac.jp



北陸学院は2015年に
創立130周年を迎えます。